

2014年(平成26年)10月7日 (火曜日)

村上城主 本庄繁長

ゆかりの市町 連合会 魅力を全国アピール

2回 本庄繁長公ゆかりの地交流会



本庄繁長の「ゆかりの地連合会」発足を決めた交流会＝村上市

戦国時代の村上城主・本庄繁長に縁のある村上市、福島市、山形県白鷹町などの有志が先週、村上市で交流会を開き「ゆかりの地連合会」を発足した。関係者同士で本庄繁長の魅力を全国にアピールしていく。

本庄繁長は上杉謙信、景勝に仕えた武将。生涯で80回以上の合戦をしたが、1回も大敗しなかった名將と語り継がれている。

繁長の没後400年を迎えた昨年、村上市民らが400年祭実行委員会を組織してさまざまなイベントを開いた。繁長の墓がある福島市の長楽寺で営まれた法

要にも参列し、関係者と交流した。実行委のメンバーは引き続き「本庄繁長公の会」として活動している。

今回の交流会は村上市の大観荘で開かれ、福島市と白鷹町からの約40人を含む約70人が参加した。連合会の設立は全会一致で決定。会長に本庄繁長公の会の飯沼与三太会長が就いた。

飯沼会長は「繁長公にまつわることを全国に発信し、後世に伝えていきたい」とあいさつ。長楽寺の中野重孝住職は「連合会設立で次の100年の一歩を踏み出した。心から感謝したい」と話した。